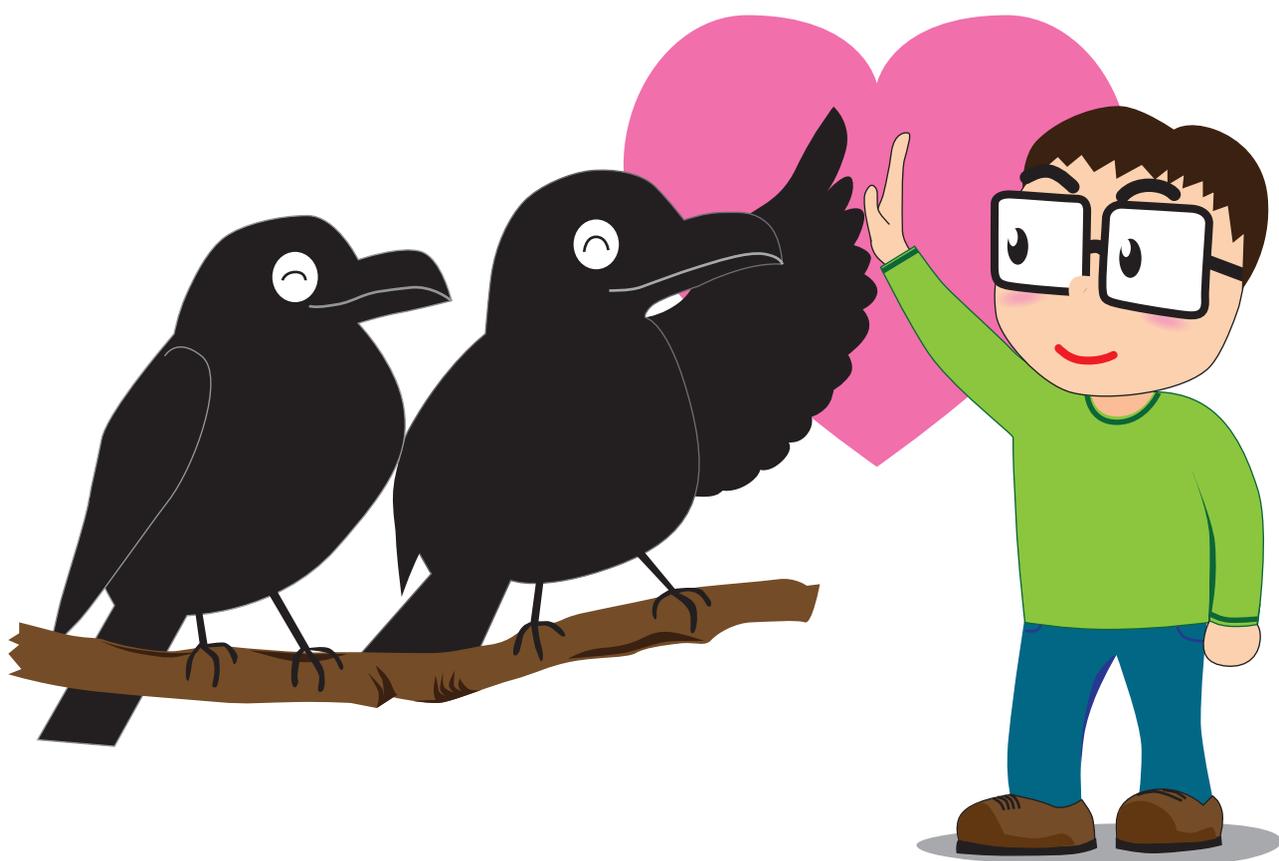


# カラス対策マニュアル



長浜市 市民生活部 環境保全課

# はじめに

カラスと聞くと良いイメージを持つ方は多くないでしょう。

長浜市でもゴミを荒らしたり、沢山集まって騒音や糞害を引き起こしたり、時には人間に襲いかかってくることも知られています。

しかし、カラスも人間をいじめたくてそのような行動をしているわけではありません。

カラスが人間に嫌われる行動をする原因について知り、しっかりと対策を立てお互いが共生していける方法について考えてみましょう。



## 第一章 カラスってどんな鳥？

カラス=黒いイメージを持つ方が多いと思いますが、実は、カラスにも色々な種類があり、私たちが普段「カラス」と呼んでいるのは「ハシブトガラス」と「ハシボソガラス」の2種類を指しています。

### 1. カラスの種類

#### ハシブトガラス

NO.1



本来は山などの森林などで暮らしていたカラスの仲間で、街路樹やビルなどの人工物が森林に似た構造をしていたため、市街地に定着しました。長浜の街中で見られるカラスの半分以上はこの種類です。ハシボソガラスよりも肉食性で、性格も強い傾向があります。

#### ハシボソガラス

NO.2



元々は平地で暮らしていたカラスで、長浜市の田園地帯でよく見られます。市街地などでは、あまり見かけませんが、ハシブトガラスの群れと混ざっていることがあります。ゴミを荒らすことは少なく、普段は水田などで植物の種子や小動物などを食べて暮らしています。

### 長浜市には他にもこんなカラスがいます

#### ミヤマガラス



冬の田園地帯に群れで暮らしています。警戒心がとても強く、滅多に人の傍に近づきません。

#### コクマルガラス



ミヤマガラスの群れに混ざっていることがあります。お腹が白いカラスの仲間です。

#### カケス



真っ黒ではないカラスの仲間で、山で暮らしています。翼の水色がとても美しい鳥です。



## 2. ハシブトガラスとハシボソガラスの見分け方

姿形はそっくりですが、それぞれの特徴や行動を観察すれば簡単に見分けることができます。



### A: 顔をみてみよう

ハシブトガラスの頭はハシボソガラスに比べておでこにふくらみがあるように見えます(①)。また、ハシブトガラスはハシボソガラスよりも肉食系であるので、くちばしは太く、先はかぎ状になっている(②)ことがわかります。



ハシブトガラス



ハシボソガラス

### B: 声を聴いてみよう

ハシブトガラスは、ほとんど濁らない声で「カァー、カァー」と鳴くことにに対し、ハシボソガラスは濁った声で「ガァー、ガァー」と鳴きます。

カァー、カァー

ハシブトガラス



ガァー、ガァー

ハシボソガラス



### C: 動きを観察してみよう

ハシブトガラスは頭を上げて、尾羽を上下に振りながら鳴きます。ハシボソガラスはお辞儀をするように頭を上下に揺らしながら鳴きます。

ハシボソガラスの鳴く時のポーズ





### 3. カラスの生活

カラスは子育てをする春から夏の間（繁殖期）と、子育てをしない秋から冬の間（非繁殖期）で異なる生活をしています。繁殖期は家族で行動し、自分たちの縄張りの中で暮らしています。一方、非繁殖期や、繁殖期であっても、子育てを行わないカラスは、昼間は自由に行動して、夜になるとねぐらに戻って集団で休みます。

カラスは非常に知能が高いことで有名で、鳥の中では身体に対して最も大きな脳を持っていることがわかっています。実際に植物の硬い実を車に轆かせたり、高い場所から落とし割って食べるなど、時には我々が驚くような知恵をもつカラスもいます。

性格はとても凶暴だと思われがちですが、とても理知的で普段はおとなしく無用な争いほとんどしません。夫婦仲は極めて良く、一度夫婦になると片方が亡くなるまで生涯を共にします。



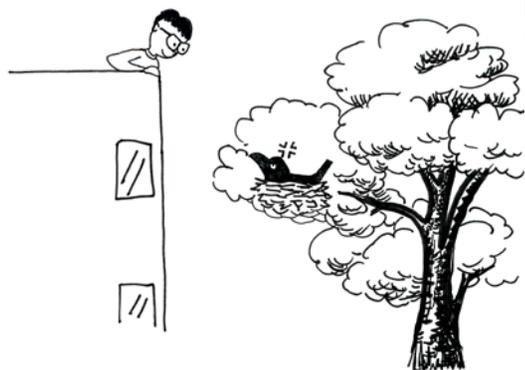
## 第二章 カラスが襲ってきた！

カラスに襲われた！という話はよく聞いたことがあると思います。しかし、前述の通りカラスはとても賢い生き物です。人間の怖さもよく理解しており、襲いかかってくることは滅多にありません。しかし、子育ての時期（繁殖期）だけは、我が子を守るために決死の想いで人間に立ち向かうのです。それでは、どのような場面でカラスが襲いかかってくるのかご紹介します。



### 1. 近くにカラスの巣がある

カラスは街路樹や電柱の上などに巣を作ります。カラスがいつも同じ場所で威嚇してくるときは、近くに巣があるかもしれません。また、ビルやマンションのベランダなど、巣よりも高い場所にいると余計に警戒されて、威嚇されやすくなります。



### 2. 近くにヒナがいる

カラスのヒナは、卵から孵化して約1ヶ月で巣立ちますが、巣立ってから数日は上手に飛ぶことができず、街路樹や生垣の中でひっそり隠れて過ごします。この時、人間がヒナが隠れていることに気がつかずに近付くとカラスに威嚇されたり、時には襲われることがあります。



### 3. 巣を観察する。

カラスは視力がとっても良い生き物です。自分の巣が人間から観察されると気付くと、危機感を感じて観察者を排除しようと襲いかかってくる場合があります。カラスといえどプライバシーは大事なのです。





# 第三章 カラスに襲われたときの対処法

いくらカラスに注意して生活をしていても、カラスは人間から簡単に見つからない場所に巣を作るので、どうしても威嚇をされたり、襲われることがあります。ここではカラスから襲われた際に怪我をしないための工夫や、攻撃されない方法を紹介します。

## 1. カラスの行動に注意する。

カラスはとても理知的な生物で、巣に近づく人間を見つけ次第、襲いかかるような野蛮な行動はとりません。人間を攻撃するまでの間に段階的に警告をするので、これに気づくことができれば、攻撃されるリスクを大きく下げることができます。

### カラスの威嚇から攻撃へのプロセス

#### ステップ1 木や電柱の上から観察してくる



まずは、巣に気づいているのどうかを観察してきます。この時点では威嚇はしてきません。

#### ステップ2 大きな声で警告する



巣まで近づいて来ると、大声で鳴いて怒っている自分の存在をアピールします。近くでカラスが大声で鳴き出したら自分が怒られているのかもしれない。

#### ステップ3 上空で旋回しながら鳴く



木の上などでアピールしても無視された場合、人間の上を飛びながら鳴くようになります。

#### ステップ4 近くの木の枝を折って落とす



鳴いてアピールしても相手にされない場合、近くの木にとまって枝を折っては落とすなどの威嚇をするようになります。ここまでくるとカラスの心理としては、かなり追い込まれてきています。

#### ステップ5 近くの枝にとまって短く「ガッ」と鳴く



カラスからの最終警告です。わざわざ近くまで寄ってきて鳴くカラスには要注意です。

#### ステップ6 背後からキック



鳥はくちばしでつついて攻撃をするイメージがありますが、足で攻撃することがほとんどであるため、爪などで裂傷を負う恐れがあります。

※これらのステップはあくまで威嚇から攻撃に移る目安です。個体差により、いきなり襲ってきたり、襲ってこずにとちらの様子を伺っていることもあります。また、全てのカラスが襲ってくるわけではなく、攻撃に移るのはごく一部の個体だと考えられています。

## 2. 一度威嚇された場所はしばらくの間は避けて利用する

カラスに威嚇や攻撃をされるほとんどの理由は、子育てが関係しています。一度威嚇をされたら、まずは一週間その場所を極力避けて通らしましょう。巣立ったばかりのヒナは、その期間で自由に自分から人間を避けることができます。それでも威嚇される場合は、一ヶ月程度避けて通れば、子育てのシーズンを避けることができます。

## 3. どうしても威嚇される場所を通らなければならない場合は

カラスは人間から反撃されないよう背後から奇襲をします。そのため、日傘をさすなど、後頭部に障害物を置くことで攻撃されるリスクを低減することができます。万が一襲われても、基本は単発のキックを繰り返すだけで、連続で何度も襲ってくることはありませんので、落ち着いてその場を離れましょう。

通学路である場合など、その場所を避けて通ることができず、また、カラスから攻撃されるリスク低減が難しい場合は、巣を撤去する必要があります。タイミングや巣の落とし方によっては、効果がないどころかカラスの防衛意識が強くなることもあります。なお、巣に卵があったりヒナがいる場合は県の許可が必要となります。





## 第四章 カラスが夜に集まって大量に糞をする

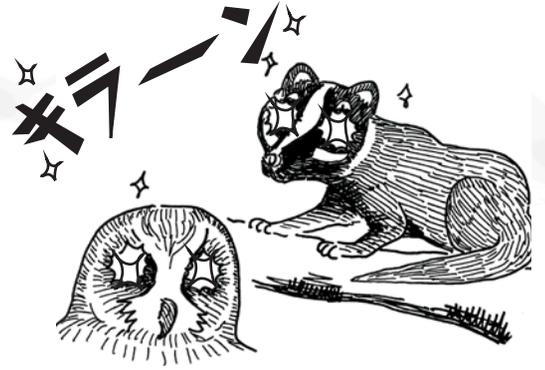
秋から冬の非繁殖期や、子育てに参加しないカラスは、夜になると集団になって「集団ねぐら」を作ります。集団ねぐらは、100羽から数千羽程度のカラスが集まり、夕方や明け方になると騒音や、糞がたくさん降ってくるといった被害がでます。ここではカラスのねぐらがなぜできるのか、そしてどのような対策ができるのかを紹介していきます。



### 1. カラスはなぜ集団ねぐらをつくる？

カラスに限らず、集団ねぐらをつくる鳥はとても用心深い習性があります。強そうなカラスといえど、天敵であるフクロウやハクビシンが暗躍する夜になると心細くなってしまいます。そこで、なるべくたくさん数で集まって、万が一天敵がやってきてもすぐに見つけたり、また他のカラスに合図できるように集団ねぐらをつくるのです。

決して人間が憎くて糞をしたり、大声で安眠妨害を企てているということではなく、これはれっきとした自衛のための知恵なのです。



### 2. 長浜市にあるカラスの集団ねぐら

長浜市では2020年現在、数箇所のカラスの集団ねぐらを確認しています。

・田村山 ・長浜八幡宮 ・虎御前山 ・山本山

カラスの集団ねぐらは、主に秋から冬の非繁殖期に最大になり、春から夏の子育ての時期はカラスの個体数は、比較的少なくなります。季節の境目や荒天時には流動的に場所が変わることも知られているほか、冬の水田で見られるミヤマガラスは、エサ場となる水田近くの電線で集団ねぐらを形成することも確認されています。



### 3. 集団ねぐらはなくすことができる？

カラスの集団ねぐらによる糞害や騒音による被害は全国的に発生しており、各地で様々な対策が講じられています。中には集団ねぐらの中に天敵であるタカを放ち追い払うといった対策が行われていますが、短期的な効果しかなく、集団ねぐら自体を消滅させる方法は現在発見されていません。

しかし、集団ねぐらの規模を縮小することは可能で、私たちの生活に少し工夫を加えるだけでも効果が期待できます。



## 第五章 カラスの個体数を減らそう

現代における人間社会の都市化はカラスにとってオアシス的な環境を与え、種の繁栄をもたらしてきました。そんな我々の生活を少し見直すだけでも、カラスの集団ねぐらによる糞や騒音による被害を大きく軽減することができると考えられています。

ここでは、カラスの集団ねぐらによる被害の軽減と、人間とカラスが共存できる社会づくりについて紹介します。

### 1. ゴミ出しのマナーを徹底しましょう

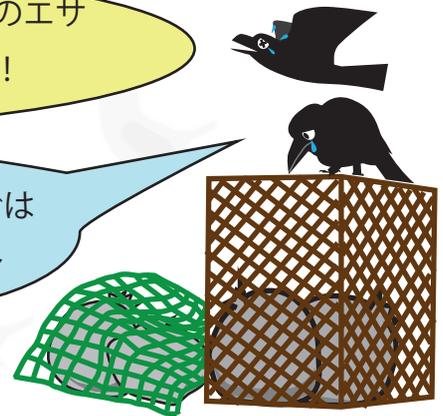
市街地におけるカラスの主なエサは生ゴミです。カラスの数を減らすには、食料を減らしていくことが極めて重要です。これは、生ごみを前日の夜から放置しないことや、ゴミの集積場をフタ付きの容器にしたり、金属のカゴにすることなどでカラスから物理的に遮断することで対策できます。シートやネットをかけるタイプはカラスがめくってしまったり、タヌキなどが中に入って荒らしてしまう可能性があります。何もしないよりは効果があります。

どうしても集積場にカラスとゴミを物理的に遮断する対策がとれない場合は、CDなどを吊るすことで嫌忌効果が得られます。ただし、この手法はカラスが学習すると効果がなくなるので、定期的に設置物を更新する必要があります。



前日の夜からゴミを置かないなど、カラスのエサを減らすような工夫をすることが大切です！

金属やフタ付きのかごは開けるのが難しいよ～



### 2. ハトや野良猫へのエサやりはやめましょう

市街地のカラスは生ゴミを主なエサとしていますが、ゴミ収集のない昼間などは、ハトや野外で飼われている猫のエサなどを巧みに奪い取ったり、エサを食べにきたネコやハトを襲うことも知られているので、ネコは室内飼いを徹底し、野良猫にはエサを与えないことが推奨されています。

カラスは周りの生き物の行動をよく観察しています。ネコやハトがカラスに襲われる事がありますので、野外でのエサやりは控えましょう。





### 3. 巣の材料を減らしましょう

カラスの個体数を減らす方法として、食料を減らす他に子育てを制限させる方法があります。特に市街地のカラスは針金ハンガーやビニール紐を巣の材料としてよく利用しています。これらの材料となるものを放置しないようにするだけで、カラスの巣が減少し、カラスの個体数が少なくなることにもつながります。

ハンガーは、家の中に片づけましょう！

カラスの個体数を増やさない事は、カラスの問題を解決することに繋がります。



こんなところに巣の材料が落ちてる！



巣材として持っていこう！



## 第六章 カラスの害への対処法



ごみを荒らされて困っています。

**ごみ集積所は綺麗に管理できていますか？**

カラスはエサを求めてごみ集積所に戻ってきます。

**ごみ袋がつつかれて中身が散乱していませんか？**

食品の残渣（生ごみ）も彼らのエサとなっています。



### 対処法

- ・エサとなる生ごみをできるだけ減らしましょう。
- ・集積所をきれいに保ちましょう。
- ・ゴミ袋の外から生ごみの入っている部分がカラスから見えないようにしましょう。



カラスの巣を撤去したい。

### 巣にひな鳥はいませんか？

カラスに限らず、全ての野生鳥獣は鳥獣保護法によって、許可なく捕獲することが禁止されています。なお、巣に卵があったり、ひな鳥がいる場合は、県の許可が必要となります。



## 対処法

繁殖期を経過し、既に巣立った巣については、許可が可能ですが、カラスが使用している形跡がないことを必ず確認してください。危害を加える存在であると判断されると威嚇や襲われる危険性があります。

巣を落とすタイミングや落とし方によっては、効果がないだけでなく、カラスの防御意識が高くなる可能性もあります。



## 第七章 最後に

これまで何度も書いたようにカラスは野生生物の中で最も理知的な種類の一つで、その知力で人間社会に適応し繁栄してきました。彼らは決して人間に悪意があつて威嚇するわけでも、集合するわけでもなく、必死に毎日を生き抜こうとしています。しかし、このまま両者の利害関係が崩れたままだと、お互いに不幸な思いをし続けることとなるでしょう。だからこそ、私たち人間がカラスとの適切な関係を築いて、お互いが共生していける人間にもカラスにもやさしい長浜市をつくっていかねばなりません。

